

財 政 事 情

『滋賀県基本構想～変わる滋賀 続く幸せ～』の実現に向けて



令和6年（2024年）5月

滋 賀 県

表紙の絵

源氏物語画帖「^{ははきぎ}帚木」（江戸時代）

滋賀県立琵琶湖文化館所蔵

源氏物語は、今から約1,000年前に一条天皇の中宮彰子（藤原道長の娘）に仕えた女官紫式部が執筆した小説です。執筆当時から非常に評価が高く、源氏物語を題材とした源氏物語絵巻も制作されました。本作は、源氏物語の12の場面を描いた絵を貼り合わせた江戸時代の画帖で、絵と和歌がセットになっています。

現在、NHK大河ドラマで紫式部を主人公とした「光る君へ」が放送されており、源氏物語が改めて脚光を浴びています。

源氏物語の着想を得た地とされる石山寺（大津市）をはじめ、滋賀県内には紫式部ゆかりの地や文化財が多くあります。

は　じ　め　に

県の予算は、県民の皆さんの暮らしに密接にかかわるものであり、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを広く知っていただく必要があることから、財政事情として年2回（5月と11月）、定期的に公表しています。

今回は令和6年度予算の概要、令和5年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況などをお知らせします。